



須坂市立小山小学校だより

令和5年4月7日

# 橋の子だより

No.1 文責：教頭

橋の木のように 深く根を張り 幹太く 枝葉豊かな人

須坂市立小山小学校

## ご入学 ご進級 おめでとうございます！

1年生 56名が元気に入学し、全校児童 355名の子どもたちと  
教職員 31名と共に令和5年度をスタートしました。

保護者の皆様、地域の皆様には、本年度も昨年度に引き続き、本校の  
様々な学習活動へのご理解とご協力をお願いいたします。



### 《一学期始業式(4月6日) 学校長のお話より》

長い春休みが終わって、それぞれが1年ずつ進級し、大きな事故もなく、みんなにこに  
こしながら元気に登校してくれました。本当にうれしく思います。

3月までは、学校で一番小さかった1年生も、今日からは、素敵な2年生です。このあ  
と、新しい1年生が入学してきます。皆さんは、もう立派なお兄さんお姉さんですね。1  
年生が困っていたら、親切にいろいろ教えてあげてくださいね。3年生から6年生も一つ  
ずつ学年があがりました。

クラス替えのあったときどきの3、5年生。そして、小山小学校の「顔」となったたく  
ましい6年生。

学級・学年には、これからいろいろな色がついていきます。

今年1年でそれぞれどんな色になるのか楽しみにしています。

さて、新しい年度を迎え進級した皆さん。今年度の小山小学校の全校児童は、新入生を  
入れて355人です。本校の学校教育目標は、「橋の木のように 深く根を張り 幹太く枝  
葉豊かな人」です。深く根を張るにはどうしたらよいか、どうしたら育つのか。それは、  
皆さんの心の中に『よく考えてみよう』『一緒にやろうよ』『よしやってみよう』という  
心を育てることです。合い言葉は「学び合い」「響き合い」「鍛え合い」です。みなさん  
と先生方と力を合わせ、「夢やあこがれの持てる学校 一人一人のよさや可能性を引き出  
す学校 笑顔と優しさのあふれる学校」を創っていきたいと思います。

さて、今日は、進級のお祝いに、詩人の須永博士(すながひろし)さんの、「ともだち」  
という詩を贈ります。

ともだちをたいせつにするひとがいます  
ともだちをきずつけるひとがいます  
あなたは どちらをするひとになりますか  
いきてつらいことや さみしいことがあったとき  
いちばんうれしいのは  
ともだちがやさしくしてくれることです  
ちからをかしてくれることです  
あなたは ぜったい ともだちをたいせつにするひとに  
なってほしいのです  
あなた ともだちとなかよくしてね

\*掲載許可済み

みなさんは、これまでも友だちに優しくしてもらって、うれしく思ったことがあったで  
しょう。また、友だちに優しくして、友だちが喜んでくれたこともあったでしょう。ぜひ、  
これからも、友だちをうんと大切にしてください。

いよいよ、新学期が始まります。いっぱい遊び、いっぱい勉強し、成功したり失敗した  
りすること。そして、いっぱい友だちや先生の話聞き、いっぱい友だちや先生に話をす  
ること。

その中で、きっとみなさんは、おもしろいこと、楽しいこと、悲しいこと、苦しいこと

等を感じながら、自分自身を高める大切な経験を繰り返していくことと思います。  
 将棋名人の米長邦雄さんという人が「明日の自分を創るのは、今の自分」と言っています。今日の経験が、明日の自分に知恵となり生きてくるといことです。  
 いろんな経験を重ねながら、ゆっくりと確かに、少しずつ自分を大きくしていってほしいと思います。

一学期は73日間です。  
 今年は、小山小学校創立150周年を迎えます。150周年の記念行事もあります。その年に小山小学校に在籍できるということは、何かの縁です。学校にとっても、皆さんにとっても貴重な節目の1年であることを常に心の片隅において、みなさんの笑顔が教室中、学校中に咲く素敵な学校にしていきたいと思います。

## 新しくお世話になる教職員の紹介 よろしくお願ひいたします

氏名	前任校	氏名	前任校

### ◎令和5年度 職員組織


全職員で研修等を行い、子どもたちの安心・安全のため、非違行為防止に努めてまいります。ご心配なこと等ありましたら、ご連絡をいただきますようお願いいたします。

#### 新型コロナウイルス感染症対策について

- 児童や教職員は、学校教育活動に当たり、マスクの着用を求めないことを基本とします。
- 校外学習でマスクの着用が推奨される場面では、児童や教職員のマスクの着用が推奨されます。
- 様々な理由によりマスクを希望したり、マスク着用ができなかったりするため、学校や教職員がマスクの着脱を強いることが無いようにします。また、児童の間でマスクの着用の有無による差別・偏見がないように適切に指導します。
- 常時換気に努めます。また、接触感染を避ける方法として、手洗いを徹底します。
- 当面は、「健康チェックカード」による体温等のチェックを引き続き行います。